

木オだよソ

社会福祉法人 東香会
しぜんの国保育園 small village

Aug. 2022



法人理念
いきいき

- 子どもの成長・発達・生活に寄与する人はすべて保育者
- 永続的な暮らしを目指し、物質と事象と生命との関係性を深める
- 地域で安心して子育てができるように

8月主題 人も虫も魂も 陽だまりに つどう笑顔

先日、あおぞらチームのしほのさんに「保育をされていてどんな瞬間が楽しい？」と聞いてみたら「子どもたち同士が楽しそうに話をしていて、それを少し離れたところで聞いているのが楽しい」と言っていました。楽しそうな子どもたちの姿、その傍にいるしほのさん。その姿を想像して私も思わず「うふふ」とうれしい気持ちになりました。

保育というのは「間」が大事というのはよく話題に出ます。それは乳児も幼児も関係ありません。オムツを変える時の「おしっこでたかな、きれいにしようね」という言葉かけや、声を掛けるタイミング（間合い）、幼児グループだとしたら集中して遊んでいる子どもたちの傍にいる距離感（世界をこわさないように）。

場に神経を張りつつ、いかに大人が透明になれるかが大事になってきます。保育の妙ですね。ゆらゆら期、安心期をくぐり、人と人、人と物や場、さまざまな事象との関係性がグッと結ばれる時期。さあ、透明になって私は、何に出会うでしょう。

しぜんの国での暮らしが眩しい8月です。

園長 齋藤美和



8月 の予定

5日(金)避難訓練
30日(火)乳児健診
31日(水)誕生会

お知らせ と おねがい

・夏期登園予定に変更がございましたら、必ずお知らせください。また、お休みをされる場合は、園の方へ9時までに電話、またはコドモンにてご連絡をお願い致します。

・自主的に登園自粛をされているご家庭はコドモン連絡の際に、その理由を **備考欄に明確に記載**していただくようお願い致します。(例: 高齢者や基礎疾患を持つご家族と同居、登園に不安があり自粛など)

・**家庭状況調査書類の受け取り期間は 8月9日(火)～8月19日(金)**となっています。

※提出の際は必ず手渡しをお願い致します。 8月19日(金)以降は保育・幼稚園課に提出してください。

・9月1日 引き渡し訓練が予定されています。詳細につきましては、また改めてお知らせ致します。

じむしょ 小窓 だより

昨年度の8月のじむしょ小窓だよりを見返してみると、こんな文章がありました。
『けやき組が喜びいっぱいのお泊まり保育の1日を過ごしているのを間近に見て、翌日にかえで組の子どもが一言。』

「あさっては、僕たちのお泊まり保育だよな？」

…明後日ではないけれど、一年後。憧れのその日がかえで組の子どもたちにも訪れます。あんな風にやってみたい、そう思わせてくれた、けやき組のお泊まり保育の1日。』

一年前、5歳のお泊まり保育に憧れて「やってみたい」と呟くかえで組の子どもたちの表情は、今も目に焼き付いています。そして当時の4歳児は1年経って5歳けやき組になり、7月8日、ついに念願のお泊まり保育の日を迎えました。当日の朝、けやき組のセッションを覗きにいき、みんなの隣にそっと座ると、Yくんが私にもたれかかりながら、小さな声で、言いました。

「ああ、すごくドキドキするんだよ。」

お家の方と離れてお寺に泊まる夜のことを思って少し抱く不安と、皆で決めたことを全部実現していくのだという期待で胸がドキドキする。体を寄せてくれた柔らかな肌から、気持ちが伝わってくるようでした。見渡せば、他にもYくんのような表情をしている子がいます。お泊まり保育は、子どもたちにとって、胸が高鳴り、浮き足だってしまうけれど、少し不安、そんな特別な1日なのだなあと感じながら、子どもたちが水族館に行くの見送りました。

自分たちで決めたメニューのランチ、おやつにはパフェを食べ、シャワーも園で浴びて、夕ご飯まで友だちや保育園の大人と一緒に！夕暮れの中歩いてお寺に向かい、境内で住職のお話を聞きました。「ののさまが守ってくれるよ。何年もお寺でお泊まりをやってるけど、おばけはね、一度も出たことがない！」住職のその言葉に、子どもたちの笑顔が弾けます。キャンプファイヤーや花火から火のエネルギーもたくさん受けとって、布団の上に寝転ぶ頃には、朝の不安はずっかり影を潜め、信頼できる保育者に囲まれて静かに眠りにつきました。

憧れのお泊まり保育を終え、翌朝、安心した表情でお家の方のお迎えとともに帰っていく子どもたち。そこではまた、去年のけやき組の子どもたちから聞こえた声が。

「お泊まり保育、もう一回やりたい！」

一年ごとに繰り返される、お泊まり保育。時期も場所も同じだけれど、その場にいる子どもや大人で、その日が全く違う一日になる面白さ。一人一人にとって大切な一日を、これからもしぜんの国保育園で積み重ねていきたいと感じた一日でした。(マネージャー 辻徳子)

こども村インタビュー

暑い日
編

「みんな暑い時は何してるの？」

H「暑いときはテレビ見てくつろいでる」

T「アイスを食べる！プールとか！」

R「かき氷！海に行く！」

K「ホテルでさ、めっちゃ広い海あった。テレビもあってプールも、ベッドも、お菓子もジュースもあったよ」

H「ホテル2回行ったよ」

R「ホテルっていいよねえ～(ため息)」

保育者 リレー エッセイ

第4回目の担当は、つぼみ組担任、島田智美さんです。

【仕事に、人に、まっすぐ！な、さとみさん。一見クールな印象とは裏腹に、熱い想いを感
じる瞬間があります。
夏の暑さに匹敵するその熱量は、一体どこからくるのでしょうか？】

あおいさん、バトンありがとうございます。

子どもたちと暮らしを共にするようになってから、それまで経験することがなかったことにたくさん出会って
きたなと感じています。道端に咲いている花、道路を歩くアリ、天窓から差し込む日差し。以前の私が目を
向けてこなかった景色ばかりです。手を繋いで外に出かけて、子どもたちと同じ目線から覗いてみることで
巡り会えることができたのです。そして番の出会いが"心の動き"です。現在つぼみ組の子どもたちと過ご
していく中で、やってみたいという気持ちが芽生え、挑戦してみたけれどうまくいかない。そんな場面に出会
うことがあります。"やりたい"でも"できない"。二つの気持ちの狭間で揺れ動く表情と気持ち。時に目には涙
を浮かべながら、こちらに体を向けてもうできない"と伝えてくることもあります。その悔しさを受け止めなが
ら、もう一度"やってみたい"という気持ちが芽生えた時には、「やってみよう！」と思いを重ね合わせます。
そうして、気が付けば熱くなっている自分がいるのです。「うれしい」「くやしい」「みて！」子どもたちの沢山
の心の動きが、私の熱、そしてパワーとなっています。
時に見守りながら、時に寄り添いながら、隣に並んでこれからも同じ時を子どもたちと共有していきたいと
思っています。

今回は・・・好きなことを語る時の表情が素敵なゆんさん。
中でも熱を注いでいるモノづくりへの思いの起源を教えてください。

かみじまのんびり 漫画劇場

「なつの にんきもの」

文・絵 かみじまたるひ

